PoE対応スイッチングHUB機能搭載
マルチポート電源供給ユニット
POW-CBM4(af) 取扱説明書

株式会社コンテック

本製品は、IEEE802.3af準拠のPoE(Power Over Ethernet)マルチポート電源供給ユニットです。
カテゴリ5以上のUTPケーブルを利用してFLEXLAN DS540シリーズのIEEE802.3af準拠PoE対応無線LANアクセスポイント(最大4台まで)に電源供給することができます。
本書を良くお読みになり、正しい操作方法でご使用ください。

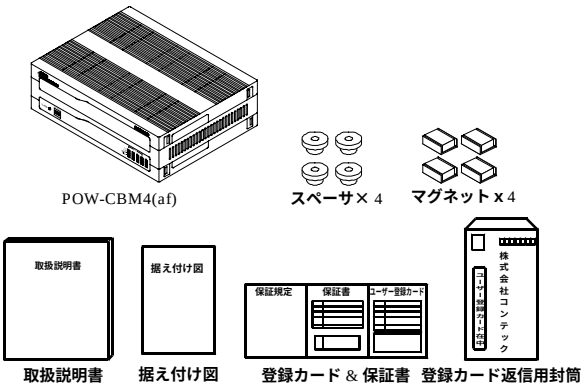
◆安全情報の表記

本書では、人身事故や機器の破壊をさけるため、次のシンボルで安全に関する情報を提供しています。内容をよく理解し、安全に機器を操作してください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

◆商品構成

・POW-CBM4(af)…1　・取扱説明書(本書)…1　・スペーサ…4　・マグネット…4
・据え付け図…1　・登録カード&保証書…1　・登録カード返信用封筒…1



◆製品仕様

項目	仕様
イーサネット規格	IEEE802.3/IEEE802.3u準拠
データ転送速度	10Mbps/100Mbps自動認識
アクセス方式	CSMA/CD
通信方式	全ポートFull/Half Duplex(自動切替)
トポロジ	スター型
フロー制御	Full Duplex : IEEE802.3x準拠フロー制御 Half Duplex : バックプレッシャー
ポート数	5
スイッチング方式	ストア＆フォワード
アドレステーブル	1,024エントリ
Queueバッファ	512Kbyte
エージングタイム	200 - 300 Sec
入力電圧範囲	100 - 115VAC
定格入力電流	1.5A
周波数	50 / 60Hz
定格出力電圧	48VDC
定格出力電流	1.8A
ACケーブル長	1.5m
使用周囲温度	0 - 40°C(PoE部40W制限)、0 - 30°C(PoE部 制限なし)
使用周囲湿度	10 - 90%RH(ただし、結露しないこと)
外形寸法(mm)	205(W)×158(D)×63(H)　(電源ケーブルは含まない)
質量	940g
浮遊粉塵	特にひどくないこと
腐食性ガス	ないこと
許容瞬時停電時間	17ms以内(100VAC@25℃) 低電圧検出時、自動的にリセットを行う

*PoE 4ポートの合計消費電力が40Wを超える場合は0 - 30℃環境で使用してください。

◆対応製品

本製品は、IEEE802.3af準拠のPoE対応無線LANアクセスポイントに対応しています。
IEEE802.3af準拠のPoEに非対応のFLEXLAN DS540シリーズアクセスポイントおよび、すべてのFLEXLAN DS110シリーズアクセスポイントには対応していません。

また、他社製IEEE802.3af準拠のPoE対応製品との接続も可能ですが、その際は事前確認を十分に行ってください。

対応	非対応
FX-DS540-APDL(af), FX-DS540-APW(af), FX-DS540-APD(af)	FX-DS540-APW, FX-DS540-APD, FX-DS540-LNK, FX-DS540-APP, FX-DS540-AP, FX-DS540-APDL, FX-DS540-APL, FX-DS110シリーズアクセスポイント全般

◆各部の名称

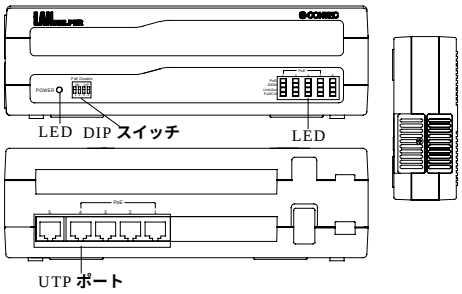


図1　各部の名称

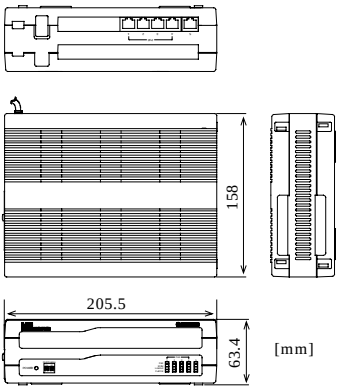


図2　外形寸法

■LED

本製品の前面に配置されています。各LEDの表示機能は次のとおりです。

LED	状態
POWER	**点灯：電源**ON **消灯：電源**OFF
PoE	**点灯：**PoE**給電** **消灯：**PoE**給電なし**
100M	**点灯：**100Mbps**リンク確立** **消灯：**10Mbps**リンク確立 / リンク不確立**
LINK/ACT	**点滅：データ送受信中** **消灯：データ送受信なし / リンク不確立**
FULL/COL	**点灯：全二重** **消灯：半二重 / リンク不確立**

■DIP**スイッチ**

UTPポートのPoE機能を無効にするときにONにします。1 - 4の番号がポート1 - 4に対応しています。
UTPポートのPoE機能を無効にすることによって、IEEE802.3af準拠のPoE非対応機器に接続するとき、PoE接続を確認するための電圧の印加が行われない通常のUTPポートとなります。
UTPポートのPoE機能を一旦無効にすると、機器を再起動するまでそのポートのPoE機能は有効にならないので注意してください。

⚠ 注意

本体を再起動する場合は、本体POWER LEDの消灯を確かめてから電源を入れてください。

■UTPポート

UTPケーブルを接続するポートです。ポート1 - 4は、PoE機能に対応しています。PoE対応機器は、ポート1 - 4のいずれかに接続してください。
ポート5は、PoE非対応の通常のポートです。ポート5は、他のHUBなどのネットワークに接続してください。
全ポートでAUTO-MDIXをサポートしていますので、機器を自動判別して接続します。そのため、ストレートケーブル、クロスケーブルのどちらでも使用することができます。
各ポートのピンアサインは次のとおりです。

ポート1 - 4

端子番号	信号名称
1	RD+/TD+
2	RD-/TD-
3	TD+/RD+
4	Positive V
5	Positive V
6	TD-/ RD-
7	Negative V
8	Negative V

ポート5

端子番号	信号名称
1	RD+/TD+
2	RD-/TD-
3	TD+/RD+
4	—
5	—
6	TD-/ RD-
7	—
8	—

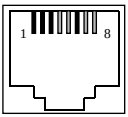


図3　ピンアサイン

※本製品は4, 5, 7, 8ピンを用いて給電します。

◆製品の設置

本製品は、水平な場所、または垂直な壁面に設置することができます。設置については、下記の設置条件を必ず守るようにしてください。

■水平な場所に設置する(机上設置)

机上など水平な場所に本製品を置き、周囲に換気のためのスペース(5cm以上)を確保してください。

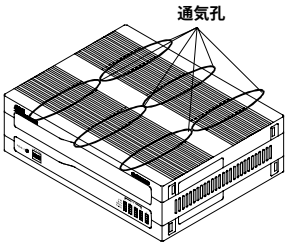


図4　机上設置

■壁に設置する (壁面設置)

壁に設置する場合は、本製品に添付のスペーサを使います。取り付け後周囲に換気のためのスペース(5cm以上)を確保してください。取り付け方向は、本体前面を上にした方向のみになります。

(1) 添付の“据え付け図”を参考にし、φ3.5のネジでスペーサを壁に固定してください(4箇所)。丈夫で垂直な壁に取り付けてください。

(2) 本体の壁取り付け穴に4箇所のスペーサを入れ、本体を取り付けます。

(3) 本体を下方向にスライドさせ固定します。

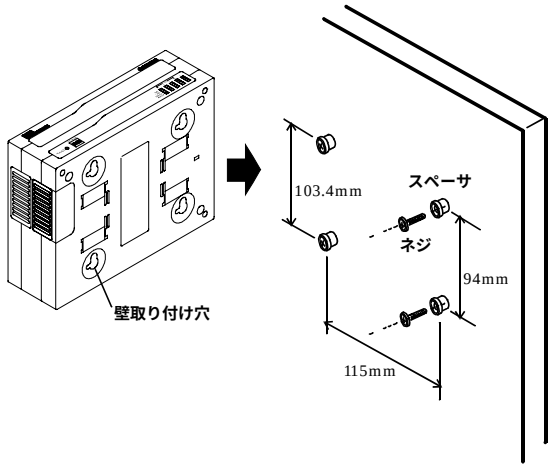
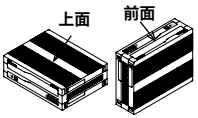


図5 壁面設置

⚠ 注意

本製品の通気孔をふさぐと製品内部の温度上昇により、故障の原因となりますので十分に注意してください。

⚠ 警告



本製品を設置する場合は、上面、または、
前面を上にしてください。その他の面を上にして
設置した場合は、熱がこもり、発火する可能性があります。
ご使用の環境によっては前面の金属プレートの温度が上昇することがあります。
プレートに直接触れないようにしてください。

◆機器との接続例

■IEEE802.3af準拠PoE対応アクセスポイントとの接続

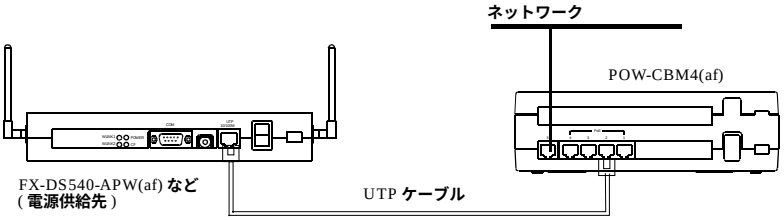


図6　アクセスポイントへの給電

ポート1 - 4のいずれかとIEEE802.3af準拠PoE対応アクセスポイントをカテゴリ5以上のUTPケーブルで接続してください。

⚠ 注意

- 電源供給先のアクセスポイントと本製品間のUTPケーブルの全長は最大100mです。
- 本製品はUTPコネクタの4, 5, 7, 8ピンを使用して給電するため、PoE接続する際は必ずカテゴリ5以上のUTPケーブルを使用する必要があります。
- POW-CBM4(af)とPOW-CB30(af)を接続しないでください。

◆取り扱い上の注意事項

⚠ 危険

周囲に発火性、腐食性のガスがある場所で使用しないでください。爆発、火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

- 本製品は、精密な電子部品でできていますので、衝撃、振動の加わる場所での使用、保存は避けてください。誤動作、発熱、故障、破損の原因になります。
- 高温や低温の場所、また温度変化の激しい場所での使用、保存は避けてください。
  誤動作、発熱、故障、破損の原因になります。
- 直射日光のあたる場所や、ストーブなどの発熱する器具の近くでの使用、保存は避けてください。誤動作、発熱、故障、破損の原因になります。
- 強い磁界、電波を発生する機器の近くでの使用、保存は避けてください。
  誤動作、発熱、故障、破損の原因になります。
- 異常な臭いや過熱に気がつきましたら、ただちに電源ケーブルを抜いてください。
- 異常や故障が発生しましたら、お買い求めの販売店、または総合インフォメーションへご連絡ください。
- 物を載せるなどして、本製品の上部および横の通気口をふさがないでください。
- 本製品は機能追加、品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。
  継続的にご利用いただく場合でも、必ず取扱説明書を読み、内容を確認してください。
- 本製品を改造しないでください。
  改造をしたものに対しては、当社は一切の責任を負いません。
- 製品の移動・譲渡する場合、取扱説明書を必ず添付してください。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、前項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容の全部、または一部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店へご連絡ください。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、前項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書中に使用している会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
- 本製品を廃棄される場合、法律や市町村の条令に定める廃棄方法に従って、廃棄してください。
- 本製品を移動もしくは譲渡する場合、取扱説明書(本書)を必ず添付してください。

◆電波障害自主規制について

POW-CBM4(af)はクラスA情報処理装置に分類されます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

サポートのご案内

当社製品をより良く、より快適にご使用いただくために、次のサポートを行っております。

◆ホームページ

日本語　http://www.contec.co.jp/
英語　http://www.contec.com/
中国語　http://www.contec.com.cn/

◆総合インフォメーション(お問い合わせ窓口)

■技術的なお問い合わせ
当社製品に関する技術的なお問い合わせは、総合インフォメーションで受け付けています。
E-mail(tsc@contec.co.jp)またはFAX *1でお問い合わせください。専門のスタッフが対応します。
ホームページ(http://www.contec.co.jp/top5.htm)にあるQuestion用紙に必要事項を記入の上、お送りください。
*1 FAX**番号は**Question**用紙に記載されています。**

■その他の製品情報のお問い合わせ
製品の価格・納期・見積もり依頼などのお問い合わせは、販売店または当社各支社・営業所までお問い合わせください。

◆修理窓口

修理の依頼は、お買い求めの販売店経由で受け付けています。
保証書に記載の条件のもとで、保証期間中に製品自体に不具合が認められた場合は、その製品を無償で修理または交換いたします。
保証期間終了後、または保証条件外での修理は、有償修理となりますのであらかじめご了承ください。なお、対象は製品のハードウェア部分の修理に限らせていただきます。

発行　株式会社コンテック　2005年3月制定
大阪市西淀川区姫里3-9-31　〒555-0025
日本語　http://www.contec.co.jp/
英語　http://www.contec.com/　A-46-925 (LYEC411)
中国語　http://www.contec.com.cn/　[03292005]
本製品および本書は著作権法によって保護されていますので無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。